

寺活 性化

26

お寺の
取り組み
紹介

二度の延期を乗り越え
落慶・御遠忌法要円成
第30組常念寺（名古屋市昭和区）

今年5月7日、第30組常念寺で落慶ならびに親鸞聖人七百五十回御遠忌法要が厳修されました。しかし、そこに至る道のりは決して平坦なものではなかったのです。その経緯について、住職の篠田茂さんに伺いました。

今から7、8年ほど前に本堂などを建て替えるという話になり、いったん更地にしました。その間に父（前住職）が亡くなるなど、いろいろ大変でしたが、工事自体は2018年夏に完了しました。そこから1年以上かけて準備をして、2020年4月に落慶・御遠忌法要を予定していました。

しかし、その年の初頭に新型コロナウイルスの問題が大きくなり、総代さんと会議をしました。さまざまな意見がありましたが、稚児行列の準備もしていたため、子どもたちのリスクも考えてやむなく延期にしました。翌年もポスターの準備まではしたのですが、やはり感染状況を考慮し、再度延期にした



2018年に完成した本堂・庫裡一体型の堂宇



お稚児さんも参加した法要の様子

次第です。

そして今年、ついに実現したわけですね？
はい、感染症の分類が2類から5類になったのが決め手となって、勤めることができました。「未来につなぐ ほとけの子」とい法要テーマのもと、稚児行列を予定していたのですが、最初の計画から3年たって参加予定の子たちも当然大きくなり、どれくらい集まってくれるか不安でしたが、ほぼ当初の予定通りの人数の方が参列してくれました。

——無事にお勤めできて本当によかったですね。時代はウィズコロナなどとも言われますが、今後新しくなった堂宇で、どんな活動をしていきたいですか？

今回の落慶・御遠忌法要で「正信偈」の書写本を作成し、お配りしました。今後は「ご命日の集い」でも活用したいと考えています。一般的に、お寺はどうしても、葬儀や法事とか「お弔い」のイメージが強いと思うのですが、このたびの法要を通じて、「お祝いごと」としての仏事もあると感じてもらえた気がします。花まつりとか、仏前結婚式とかです。今回も法要の後にコンサートを開催しましたが、イベント的なことも世の中の情勢をみてやっていけたら、と思っています。

「聞き手」編集委員 黒部朋之

2023年5月7日(日)

真宗大谷派 常念寺

落慶・御遠忌法要

未来につなぐ ほとけの子

稚児行列 お稚児さん 募集 50~80名

法要 ●午前の部 落慶法要(永代経法要) 9時始経
法話 ●荒山 淳 使
法要 ●午後の部 12時始まり
庭儀(稚児行列あり) … 宗祖親鸞聖人七百五十回
御遠忌法要 … 満座御礼式 … イベント

●午後3時ごろ イベント① マジックショー [龍之介 ●マジシャン]
●午後4時30分 イベント② 電子ピアノコンサート
[小島千加子 ●ピアノ]
/ 久野 薫 ●ソプラノ

お問合せ 052-741-2233

別院にも貼られた落慶・御遠忌法要のポスター